|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 令和５年度横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会　会議録 | | |
| 日　　　時 | 令和５年４月17日(月)９時30分から10時30分まで | |
| 開 催 場 所 | 市庁舎12階共用会議室、Web会議 | |
| 出席者 | 飯塚 美穂子 委員、西 智子 委員、日高　伸一委員、廣井 雄一 委員、松田 妙子 委員、  吉田 眞理 委員、清水 純也 委員 | |
| 欠席者 | 片川 智子 委員、佐藤 康富 委員 | |
| 事務局 | こども青少年局保育・教育部長、保育・教育支援課長、  保育・教育運営課長、　　　　　保育・教育運営課担当課長  地域子育て支援課長、　　　　　保育・教育運営課担当係長  地域子育て支援課担当係長、　　保育・教育支援課事業調整係長  保育・教育支援課担当係長、　　保育・教育支援課担当係員 | |
| 開 催 形 態 | 公開(傍聴者０人) | |
| 議　　　題 | １　各分科会の令和４年度実施報告及び令和５年度実施概要について | |
| 決 定 事 項 | 各分科会の所属委員を決定 | |
|  | 発言者 | 内容 |
| 議　　　事 | 事務局  事務局  吉田委員長  各委員  事務局  西井委員  廣井委員  吉田委員長  事務局  飯塚委員  松田委員  事務局  清水委員  日高委員  事務局  事務局  吉田委員長 | 【横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会の概要について】  委員会の担任事務、分科会を含めた組織等について資料に基づき説明  【各分科会委員の指名について】  資料に基づき説明。  今回は「横浜市乳幼児一時預かり事業事業者選定委員会」において１名の委員の交代があり、各委員の担当する分科会の案について説明する。  基本的に昨年度から継続の委員には引き続き同じ分科会を、新任の委員には前任の方の担当分科会を引き継いでいただく案を提案する。  事務局から、各委員の担当する分科会について提案があったがいかがか。  ＜了承＞  【各分科会の令和４年度実施報告及び令和５年度実施概要について】  １　横浜市各区地域子育て支援拠点運営法人選定委員会  資料に基づき報告  泉区の選定委員会に参加した。これまで５年間実績を持っている団体の選考だったため、区の課題もよく分かっており、審査では、これまでの実績をどう次につなげるかという視点での発言が多かった。  これまでの地域での様々な事業の積極的な展開について評価する声があった一方、地域のつながりの拠点としての機能を求める声もあがった。保育園や幼稚園などの地域の力を拠点事業が繋いでいけるように、市がバックアップすることや、地域の人に任せる部分はしっかり任せる体制づくりについての意見があげられた。  戸塚区の選定でも、実績ある法人の選定となっており、地域活動に熱心な法人という受け止めだった。自分が初めての参加ということもあり、事前書類の見方や、通常の運営の方法が分かりづらかったように思う。さまざまなご家庭が利用され、拠点を拠りどころとしている方もいるかと思うので、拠点とサテライトの休館日をずらすなど、柔軟な運営の方法も良いと思った。  鶴見区では長年活動している団体が選定され、運営に関しては申し分なかった。他方で、他区のように地域活動から出発した団体のような、地域への愛着や熱意については薄いように感じた。そのため、付帯意見として、男女、住まい、障害の有無等にかかわらず雇い入れるというような職員の多様性を取り入れてほしいことをつけた。  また、他の法人に交代することが中々難しい状況になっている。やはり選定する以上、手を上げる法人が複数あり、より良い提案があって、切磋琢磨することが良い。  プロポーザルの選定上、複数の応募だと、現状で運営している法人へ見学に行くのはふさわしくないと思われるが、１法人の応募の場合は、通常の運営を見学するのも選定に役立つのではないかと思うので検討してほしい。  ２　横浜市親と子のつどいの広場運営団体選定委員会  　資料に基づき報告  子育て以外の分野で経験や実績がある団体も多く、運営面での安心感はあるが、子育て分野での展開の仕方について、いくつか注文をつけたところもある。また、有償ボランティアの利用について、こちらとしては仕事として取り組んでほしい旨を伝えた。今回１団体を落としたが、新規団体への支援の在り方についても考えさせられた。  つどいの広場は予算規模が小さく、横浜市は家賃補助がついているが、家賃を払うと最低賃金でも難しいところがあるため、どこまで求めるのかというのはある。しかし拠点事業と同様、福祉事業であるため、事業者にはその意識を持って臨んでほしい。事業者同士では拠点事業とつどいの広場事業を連携させるのは難しいので、その点を横浜市に支援してほしい。  ３　横浜市乳幼児一時預かり事業事業者選定委員会  　資料に基づき報告  初めて参加したが、有識者、保育関係団体関係者などそれぞれの視点から、乳幼児の安全、安心に関する鋭い意見があり、安心して聞くことができた。  書類審査や当日プレゼンだけではなく、現地の見学などのうえ選定できればと思う。横浜市だけではなく委員も同行し現地調査を行うことで、今年度から安全計画が義務化されている面などを詳しく確認できるのではないか。また、実際の利用者数、稼働率についても確認したい。  ４　横浜市立保育所の民間移管にかかる法人選考委員会  資料に基づき報告  （佐藤委員より事前にいただいたコメントの代読）  　移管園の法人選考は令和４年度で一旦終了だが、既移管園において横浜の保育を継承し、保育の質の向上をつとめるため、既移管園同士の研究会やネットワークを作る必要があるのではないか。  ５　横浜市病児保育事業実施医療機関選定委員会  資料に基づき報告    法人応募があったが非選定となり、残念に思う。応募法人の開拓が困難。今回の非選定理由としては、医療機関が離れており、近隣の連携医療施設が小児科ではなく、子どもの体調が急変した場合に対応できないと判断したため。  病児保育室が徐々に充実し、医師会でも理解を深めてくださっているようなので、今年度の選定に期待したい。  【質疑応答】  ＜質疑なし＞ |
| 資　　　料 | 資料１：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会 委員名簿  資料２：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会 事務局職員名簿  資料３：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会の概要について  資料４：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会分科会委員名簿  資料５：令和４年度実施報告及び令和５年度実施概要について  別紙１：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会運営要綱  別紙２：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会 各分科会の運営要綱 | |
| 特 記 事 項 | なし | |